



 **アズワン株式会社**

東証プライム（7476）

2024年5月14日

2024年3月期決算補足資料

ハイライト

前期実績

売上高は過去最高を更新、DC開設コストで減益も、計画利益を超過

- ECの伸びが全社成長を牽引、連結売上高は955.3億円と過去最高を更新
- コロナ禍の収束によりメディカル部門が二桁減となるも、堅調なラボ・インダストリー部門がカバー。売上計画は未達。
- 阪神DC開設による9億円程度のコストアップ等で、営業減益（前年比▲9.6億円）。
- 一方、配送費等のコスト削減効果によりコスト抑制でき、営業利益は計画を+1億円超過。

通期見通し

売上高+6.0%増、営業利益+5.7%増と増収増益

- 売上高は、ラボ・インダストリー部門ではインフレによる景気後退等なければ底堅い見通し（+6.6%増）。
- メディカルはコロナ反動減消滅も、人手不足等医療機関の厳しい環境を織り込む（+3.1%増）。
- 阪神DCによるコストアップはこなれ、販管費は+13億円（+7.3%増）。

中期経営計画 の進捗

経営効率向上させ、現中計最終目標に向け邁進。同時に次期中計に向け布石。

- 現時点では修正中計最終目標に対し、売上・営業利益は未達、ROEは到達見通し。
- 品揃えは最終年度目標1,000万点を前倒し達成し1060万点（2024年3月）。1,200万点を目指す。
- 1,000億円の先を見据え、阪神DC開設による物流基盤整備や、業務DX化推進に向けたIT投資を実施。
- 株式会社カスタムをグループ化。株式会社オンチップ・バイオテクノロジーズに少額出資。

資本政策

ROEは12%台に戻り、中計達成見込み。14期連続増配を計画

- 前々期、前期と自己株式取得実施。
- 前期配当方針を上回る配当を実施で13期連続増配し、14期連続増配にバトンを繋げる。
- 2024年3月期総還元性向は82.4%。引き続き資本効率を意識し、ROE向上を目指す。

1. 24年3月期 実績

2. 25年3月期 業績予想

24年3月期 実績

■ 売上高 **955.3億円**

前年同期比 **+4.5%**^{計画比} (▲10.6億円)
+41.1億円

14年連続増収・13連続過去最高。
1000万点への品揃え拡大とECで研究開発需要を取り込む。サービスも拡大。

■ 営業利益 **104.3億円**

前年同期比 **▲8.4%**^{計画比} (+1.0億円)
▲9.6億円

柔軟な価格対応で調達コストアップを吸収。
既存販管費抑制するも、新物流センター「阪神DC」開設費用分ビハインドとなった。

■ 当期純利益 **75.0億円**

前年同期比 **▲7.5%**^{計画比} (+1.5億円)
▲6.1億円

一時的に減益となるも前年に次ぐ過去2番目の利益水準。

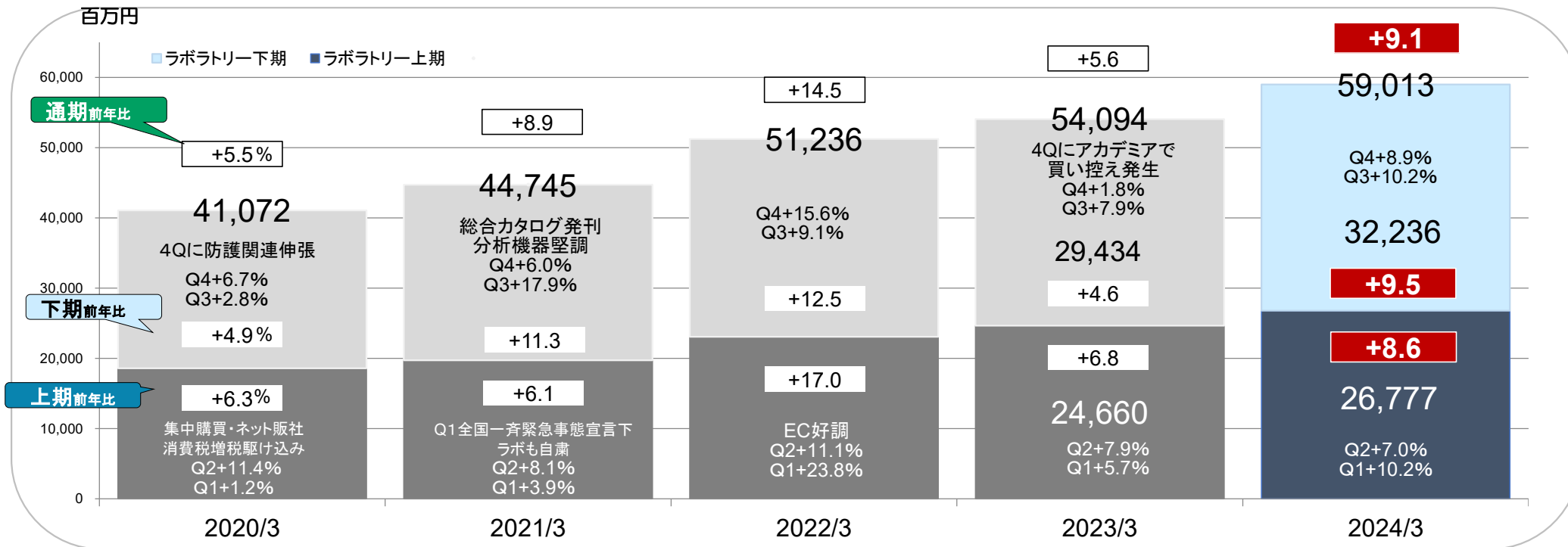
ラボ・インダストリー部門ラボラトリー（LB）売上

実績

売上高 590.1億円

前年同期比 **+9.1%** 計画比 (▲2億円)
+49.2億円

- ECチャネル+28億円、プロダクト軸ではWEB単独掲載品で+23億円。
- 2Qより新規グループ1社かわり売上加算（9ヶ月）。



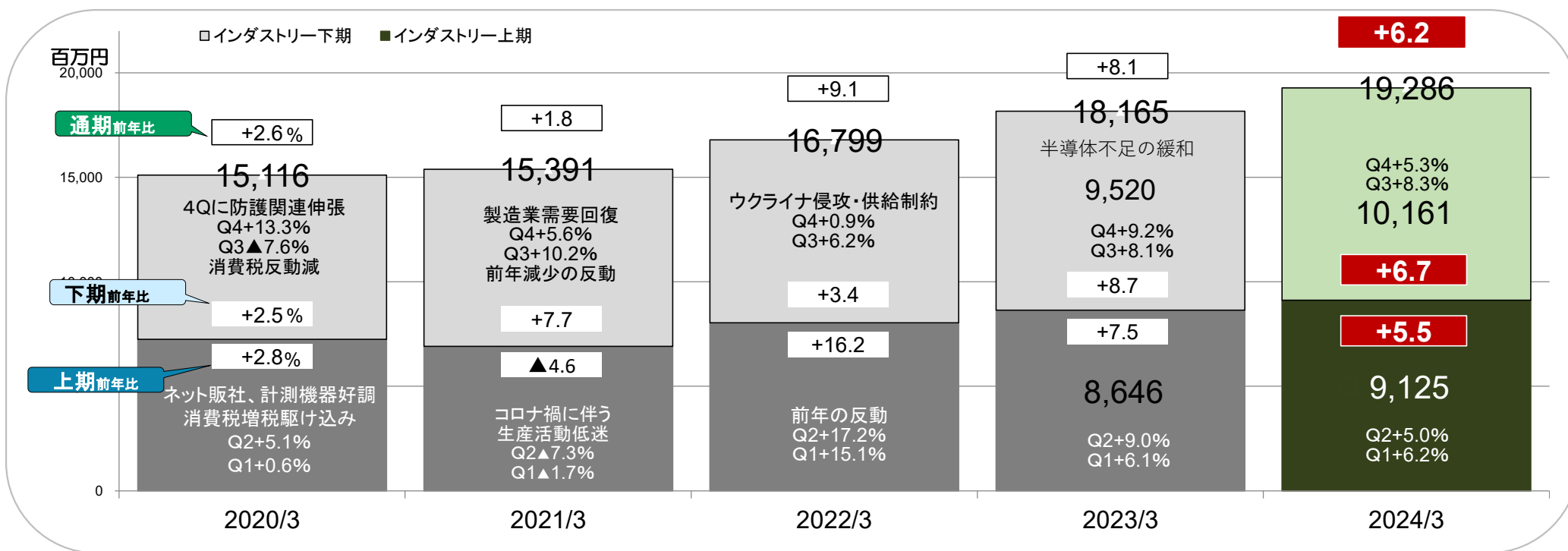
ラボ・インダストリー部門インダストリー（ID）売上

実績

売上高 192.8億円

前年同期比 **+6.2%** 計画比 (+0.7億円)
+11.2億円

➤ ECチャネル+7億円。 気中パーティクルカウンター等のクリーンルーム用品や計測機器伸張。



その他売上

実績

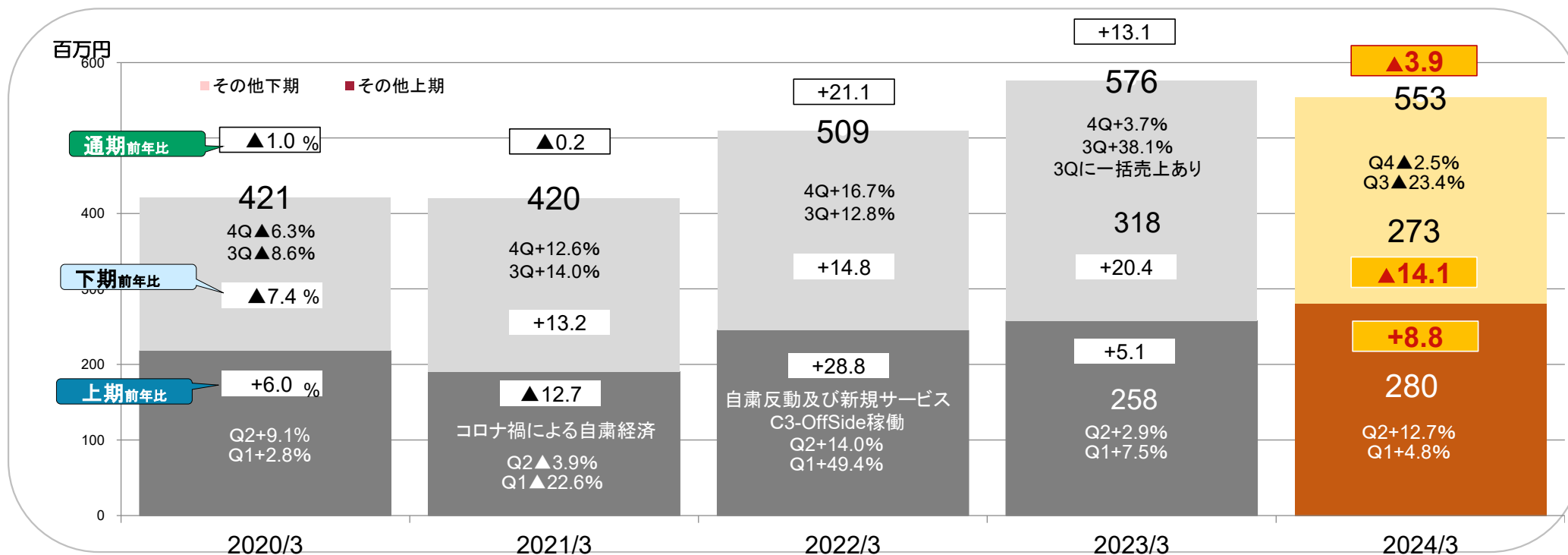
売上高

5.5億円

前年同期比

▲3.9%
▲0.0億円
計画比 (+0.0億円)

▶ 子会社トライアンフ21が試薬や研究用物品の購買マッチングをする購買代行システムを運用し手数料売上として計上



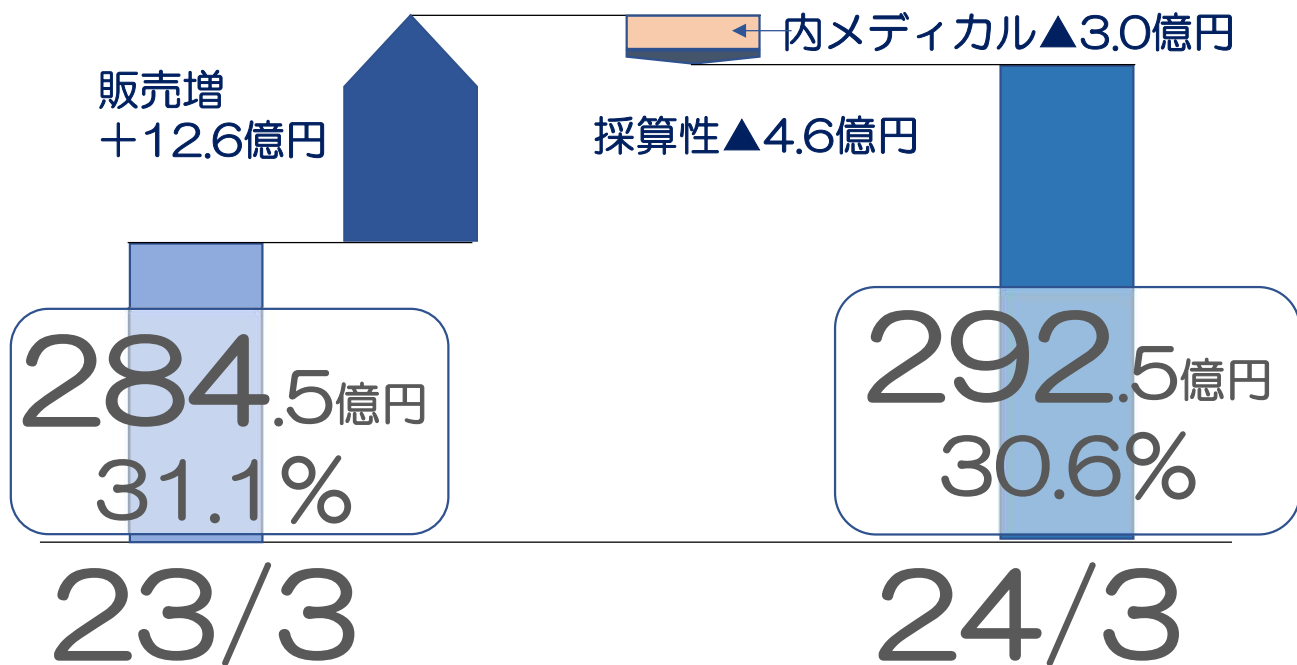
営業利益増減理由（粗利）

実績

売上総利益 292.5億円

前年同期比 **+2.8%** (計画比 ▲7.1億円)
+8.0億円

➤柔軟な価格対応で調達コストアップを吸収。一方、感染対策用品市況悪化でメディカルを中心に粗利率低下。



四半期粗利率	21/3	22/3	23/3	24/3
	(コロナ禍下での価格変動異常値)			
1Q	31.3%	30.7%	31.4%	31.4%
2Q	31.0%	26.8%	31.5%	31.2%
3Q	32.9%	30.1%	31.3%	30.2%
4Q	31.7%	29.8%	30.7%	29.8%

(単体ベース)

PB・輸入品実績

売上シェア 35.0% (▲1.9p) (前年同期比)

粗利率 +0.1p (前年同期比)

新規子会社
カスタムブランド
別途+0.6p寄与
(四半期ベース)

別途+0.4p寄与
(四半期ベース)

営業利益増減理由（販管費）

実績

■ 販管費

188.1億円

前年同期比 **+10.3%** (▲8.2億円)
+17.6億円

▶ 阪神DC開設にて約9億円及びグループ1社増え3億円増。計画比では梱送コスト・庫内作業費を抑制。

販管費	2023/3	2024/3	計画比		前年同期比		補足
			増減額	増減率	増減額	増減率	
販管費	17,053	18,813	▲ 817	▲ 4.2%	+1,759	+10.3%	阪神DC開設にて9億円負担(+5.1%相当) 7月よりグループ1社増にて+3.3億円(+1.9%相当)
広告宣伝費	586	545	▲ 139	▲ 20.3%	▲ 40	▲ 6.9%	医療用総合カタログ発刊。製作効率化による抑制。
うち印刷費	219	129	▲ 63	▲ 33.0%	▲ 89	▲ 40.8%	
人件費	6,211	6,709	▲ 111	▲ 1.6%	+498	+8.0%	期中平均人数前年674→708人(+34人) 賃上げ4% グループ1社増にて2億円(9ヶ月)
うち退職給付関連	203	70	▲ 61	▲ 46.8%	▲ 132	▲ 65.5%	
運賃・倉庫作業料	4,664	4,757	▲ 203	▲ 4.1%	+92	+2.0%	配送方法多様化でコストダウン。
研究開発費	25	17	▲ 18	▲ 52.4%	▲ 8	▲ 32.0%	PB品開発費用
不動産賃借料	1,304	1,993	▲ 4	▲ 0.2%	+688	+52.8%	阪神DC+6.1億円
減価償却費	852	912	▲ 37	▲ 4.0%	+59	+7.0%	阪神DC+0.5億円
ソフト償却費	448	482	▲ 3	▲ 0.8%	+33	+7.6%	阪神DC+0.2億円
その他	2,961	3,396	▲ 297	▲ 8.0%	+435	+14.7%	前年比：阪神DC、行動関連費、手数料、修繕費他増 計画比：修繕費、雑費、光熱費、行動関連費、手数料抑制

(単位：百万円)

- 拡大中の品揃えとECとの相乗効果及びサービス獲得が売上寄与。
- メディカルで反動減を見るも、グループ拡大やラボ・インダストリー伸張でカバー。

	2023/3		2024/3		計画比		前年同期比		(単位：百万円) 補足
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率	増減額	増減率	
売上高	91,421	100.0%	95,536	100.0%	▲ 1,063	▲1.1%	+4,114	+4.5%	新グループ社9ヶ月加算 (月次シェア1.0%程度)
売上総利益	28,450	31.1%	29,249	30.6%	▲ 711	▲ 0.4P	+799	▲ 0.5p	インフレ・円安等の調達コストの上昇は価格反映で対応。メディカルで市況悪化。
営業利益	11,396	12.5%	10,435	10.9%	+105	+1.0%	▲ 960	▲8.4%	前年比：阪神DC開設でコストUP 計画比：配送費・倉庫作業費等抑制
経常利益	11,637	12.7%	10,825	11.3%	+115	+1.1%	▲ 811	▲7.0%	前年比：為替差損の減少等
特別損益	30	0.0%	0	0.0%	0	-	▲ 30	-	
当期純利益	8,112	8.9%	7,500	7.9%	+150	+2.0%	▲ 612	▲7.5%	
※ 当期純利益/1株(円)	218.90		207.30		4.26	+2.1%	▲ 11.6	▲5.3%	
※ 年間配当金/1株(円)	111.00		112.00		62.00	+124.0%	+1.00	+0.9%	

※2024年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っておりますが、上図には反映しておりません。

配当総額

自己株買付額

総還元額

総還元性向

41 億円 + 21 億円 = 62 億円

@112円

400千株

= 82.4%

当期純利益 = 75 億円

過去5年平均総還元性向 = 76.2%

5年前過去5年平均総還元性向 = 57.5%

25年3月期 業績予想

環境認識

考慮事項	環境認識		ラボ・インダストリー	メディカル
DX潮流	ポジティブ	顧客企業のデジタル購買（EC）利用拡大。医療機関においても浸透の兆し。	○	○
GX・BX	ポジティブ	各分野において、脱炭素イノベーションに向けた技術開発・研究開発の活発化。	○	—
		バイオ技術に基づく社会課題の解決を経団連が後押し。研究開発の活発化。	○	○
インフレ ・円安	ポジティブ	インバウンド向け製品の生産回復。設備投資拡大見通し。国内生産回帰。次年度以降半導体工場目白押し。 インフレ圧力による低価格販売競争の軟化	○	—
	ネガティブ	欧米金融当局の沈静化対策による世界経済減速。輸出産業への影響。 消費者物価上昇に伴う消費減退リスク 仕入サイドへの影響 輸入品仕入れコストの上昇。	○ <small>（官需や多業種分散取引によるリスク分散）</small>	—
	（販売価格の適時改定で対応）			
人手不足 ・残業規制	ポジティブ	研究シミュレーション・研究用ロボット・介護ロボット等効率化への新たなソリューション需要の拡大。	○	○
	ネガティブ	医師の時間外労働上限規制の適用による診療時間の整理短縮 物流コストの上昇	—	織り込み済 経営効率化投資の 取り込みでカバー （配達便・ネコボス・自動化・現場改善）

前提条件

- GX・BXの潮流が研究開発を後押しし、DX潮流がEC利用を加速。
- 人手不足による緩やかな物価上昇と経費効率を勘案した買い控えリスク。
- 効率調達（レンタル、シェアリング、管理購買等）需要の拡大。

■売上高 1,012.3億円 前年同期比 **+6.0%**
+57.0億円

■営業利益 110.3億円 前年同期比 **+5.7%**
+6.0億円

■当期純利益 80.6億円 前年同期比 **+7.5%**
+5.6億円

25/3期 分野別通期売上見通し

見通し

単位：百万円

	上期計画	前年同期比	伸率(%)	下期計画	前年同期比	伸率(%)	通期	前年同期比	伸率(%)
ラボラトリー	28,440	+1,663	+6.2%	33,932	+1,695	+5.3%	62,372	+3,359	+5.7%
	大学10兆円ファンドやGX債などの外、半導体研究開発などの国の支援堅調。品揃え・サービス・ECの優位性がオーガニックに成長を促進。								
インダストリー	9,962	+837	+9.2%	11,136	+975	+9.6%	21,098	+1812	+9.4%
	半導体、電子部品等の国内生産拡大。								
メディカル	8,300	+369	+4.7%	8,897	+144	+1.7%	17,197	+514	+3.1%
	コロナ禍反動減一巡。市況回復。新規開業は効率化需要を取り込む。再生医療環境構築支援にも注力。								
その他	266	▲14	+5.1%	294	+21	+7.9%	560	+7	+1.3%
	購買代行システム利用先増でベース売上は拡大。								
合計	46,970	+2,856	+6.5%	54,260	+2,837	+5.5%	101,230	+5,693	+6.0%

➤ ECは、アカウント拡大及び品揃え拡充による既存先深耕を図る。 単位:百万円

	23/3 実績	24/3 実績	伸率 (%)	25/3 上計画	前年 同期比	伸率 (%)	25/3 下計画	前年 同期比	伸率 (%)	25/3 年計画	前年 同期比	伸率 (%)
ocean	11,649	13,237	+13.6	7,030	+864	+14.0	7,770	+697	+9.9	14,800	+1,562	+11.8
接続数	285社	339社	—	—	—	—	—	—	—	389社	+50社	+14.7
Wave	773	1,328	+71.7	837	+268	+47.1	1,162	+403	+53.2	2,000	+671	+50.6
稼働ユーザー数	2,900	4,103	+41.5	—	—	—	—	—	—	—	—	—
アカウント数	13,878 社	17,693 社	+27.5	—	—	—	—	—	—	23,000 社	+5,307 社	+30.0
AXEL Shop	2,032	2,110	+3.9	1,173	+163	+16.2	1,326	+225	+20.5	2,500	+389	+18.5
ネット通販	9,620	11,151	+15.9	6,040	+886	+17.2	6,769	+772	+12.9	12,810	+1,658	+14.9
EC計	24,075	27,827	+18.4	15,081	+2,183	+16.9	17,028	2,099	+14.1	32,110	+4,283	+15.4

➤ 中国は1-12月計画。為替想定レート1元=18.5円。

中国	3,334	3,269	▲1.9	1,479	▲90	▲5.7	1,871	+170	+10.1	3,350	80	+2.5
その他海外	1,552	1,899	+22.3	849	+90	+11.9	1,161	+20	+1.8	2,010	111	+5.9
海外計	4,887	5,169	+5.8	2,328	+0	+0.0	3,033	+191	+6.8	5,361	+192	+3.7

※ECはLB/ID/MDそれぞれに売上計上されます。海外はLBに売上計上されます。

主要施策プロダクト軸進捗・見通し

見通し

- 品揃えの拡大は、確実に売上に貢献中。
- 9年前7万点だった品揃えは中計目標1000万点達成済。1.2倍の1,200万点を目指す。
- サービス売上も2桁の伸びを継続。

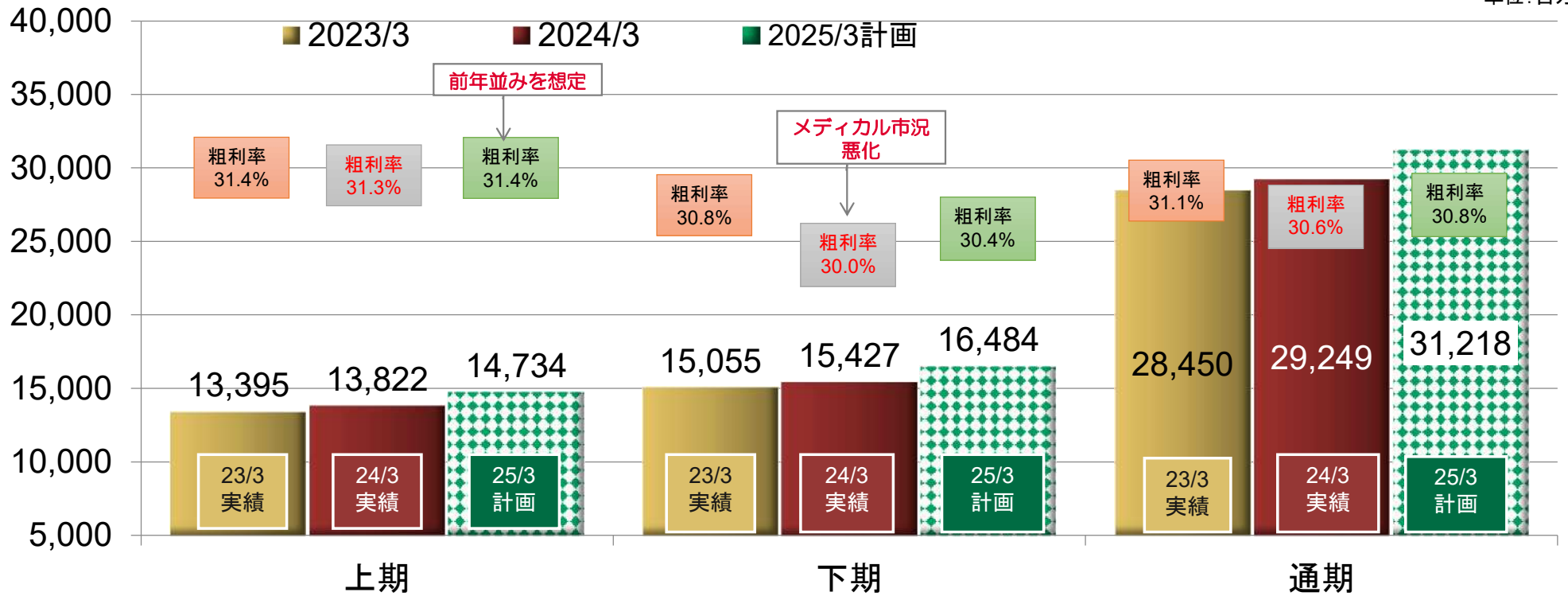
	23/3 実績	24/3 実績	伸率 (%)	25/3 上計画	前年 同期比	伸率 (%)	25/3 下計画	前年 同期比	伸率 (%)	25/3 年計画	前年 同期比	伸率 (%)
品揃え	万点 900	万点 1,060	% +17.7	—	—	—	—	—	—	万点 1,200	万点 +140	% +13.2
WEB単独掲載 品売上高	百万円 12,143	百万円 15,121	% +24.5	—	—	—	—	—	—	百万円 18,200	百万円 +3,079	% +20.4
サービス売上	百万円 2,976	百万円 3,559	% +19.6	百万円 1,774	百万円 +205	% +13.1	百万円 2,284	百万円 +293	% +14.8	百万円 4,058	百万円 +499	% +14.0

※WEB単独商品売上及びサービス売上はLB/ID/MDそれぞれに売上計上します。

■ 売上総利益 **312.8億円** 前年同期比 **+6.7%**
+19.7億円

▶ 為替変動も含め、原価に呼応した機動的プライシング継続。

単位：百万円



■ 販管費

201.9億円

前年比 **+7.3%**
+13.7億円

▶ 阪神DC本稼働で外部倉庫削減等（賃借料減）も、システム費用等増加見込み。

	2024/3	2025/3	前年比増減額		通期前年比		補 足
	実績	予想	上期 計画	下期 計画	増減額	増減率	
販 管 費	18,813	20,188	+956	+417	+1,374	+7.3%	グループ増加1社分1.1億円加算 (3か月)
広告宣伝費	545	872	+350	▲ 23	+327	+60.0%	4年ぶりの中国語カタログ発刊。 例年3Q発刊の研究用総合カタログを 2Q末に発刊
うち加刊費	129	278	+235	▲ 86	+148	+114.6%	
人件費	6,709	6,936	+308	▲ 81	+226	+3.4%	賃上げ継続。採用も拡大。グループ1社増 福利厚生減（前期の周年行事減）
うち退職給付関連	70	142	+15	+56	+72	103.2%	
運賃・倉庫作業料	4,757	5,224	+260	+206	+467	+9.8%	入出荷量増加+人員単価値上がり想定
研究開発費	17	46	+15	+13	+29	+171.4%	研究用総合カタログ向け PB品など
不動産賃借料	1,993	1,645	▲ 285	▲ 61	▲ 347	▲ 17.4%	阪神DC 1Qにフリーレント享受 外部倉庫削減
減価償却費	912	889	+6	▲ 29	▲ 23	▲ 2.6%	固定資産投資予算9.7億円
ソフト償却費	482	583	+39	+61	+101	+21.1%	IT投資予定8億円
その他	3,396	3,989	+260	+332	+593	+17.5%	行動費正常化、光熱費、設備修繕、備 品消耗品費、手数料、システム費等

(単位：百万円)

25/3期 予想損益計算書

見通し

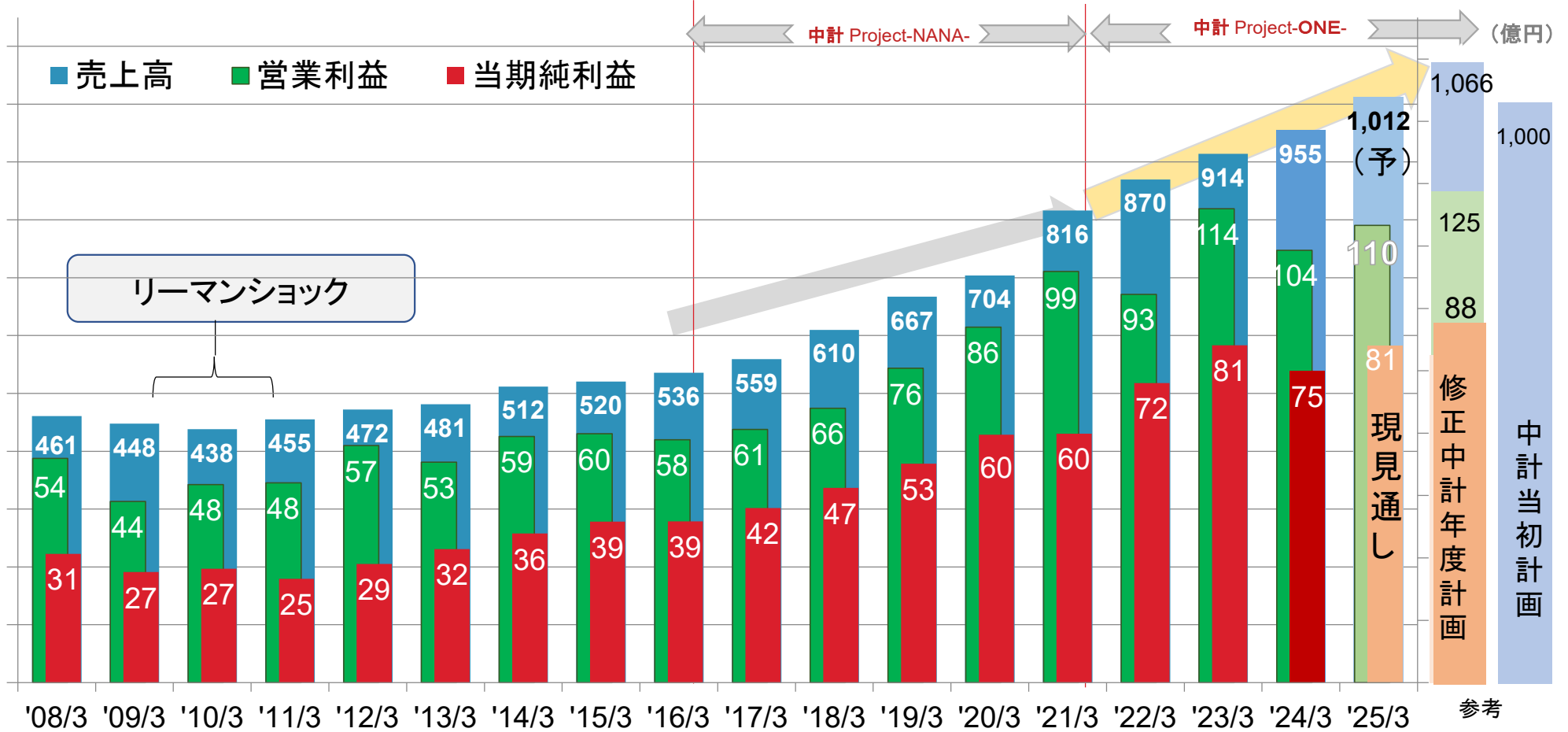
	2024/3実績		2025/3予想		前年比増減額		通期前年比		(単位：百万円)	補 足
	金額	売上比	金額	売上比	上期計画	下期計画	増減額	増減率		
売上高	95,536	100.0%	101,230	100.0%	+2,856	+2,837	+5,693	+6.0%		前期：上期+3.6%下期+5.3% 当期：上期+6.5%下期+5.5%
売上総利益	29,249	30.6%	31,218	30.8%	+911	+1,056	+1,968	+0.2p		調達価格UPは平行して売価に反映
営業利益	10,435	10.9%	11,030	10.9%	▲ 44	+638	+594	+5.7%		前期：粗利率上期31.3%+下期30.0% 当期：粗利率上期31.4%+下期30.4%
経常利益	10,825	11.3%	11,600	11.5%	+132	+642	+774	+7.2%		例年3Qに発行するカタログを2Q 末に発行のため上期減益見込み
特別損益	0	0.0%	0	0.0%	0	0	0	-		為替差損益は見込まず、自然体 (前年為替差損0.9億円)
当期純利益	7,500	7.9%	8,060	8.0%	+159	+400	+559	+7.5%		
※ 当期純利益/1株(円)	103.65		112.56		+2.76	+6.15	8.91	+8.6%		
※ 配当金/1株(円)	56.00		57.00		+3.00	▲ 2.00	1.00	+1.8%		配当性向 50.6%

※2024年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を実施したため、2024年3月期期首に当該分割が行われたと仮定して、1株あたりの当期純利益及び配当金を算定しております。

業績推移・見通し

見通し

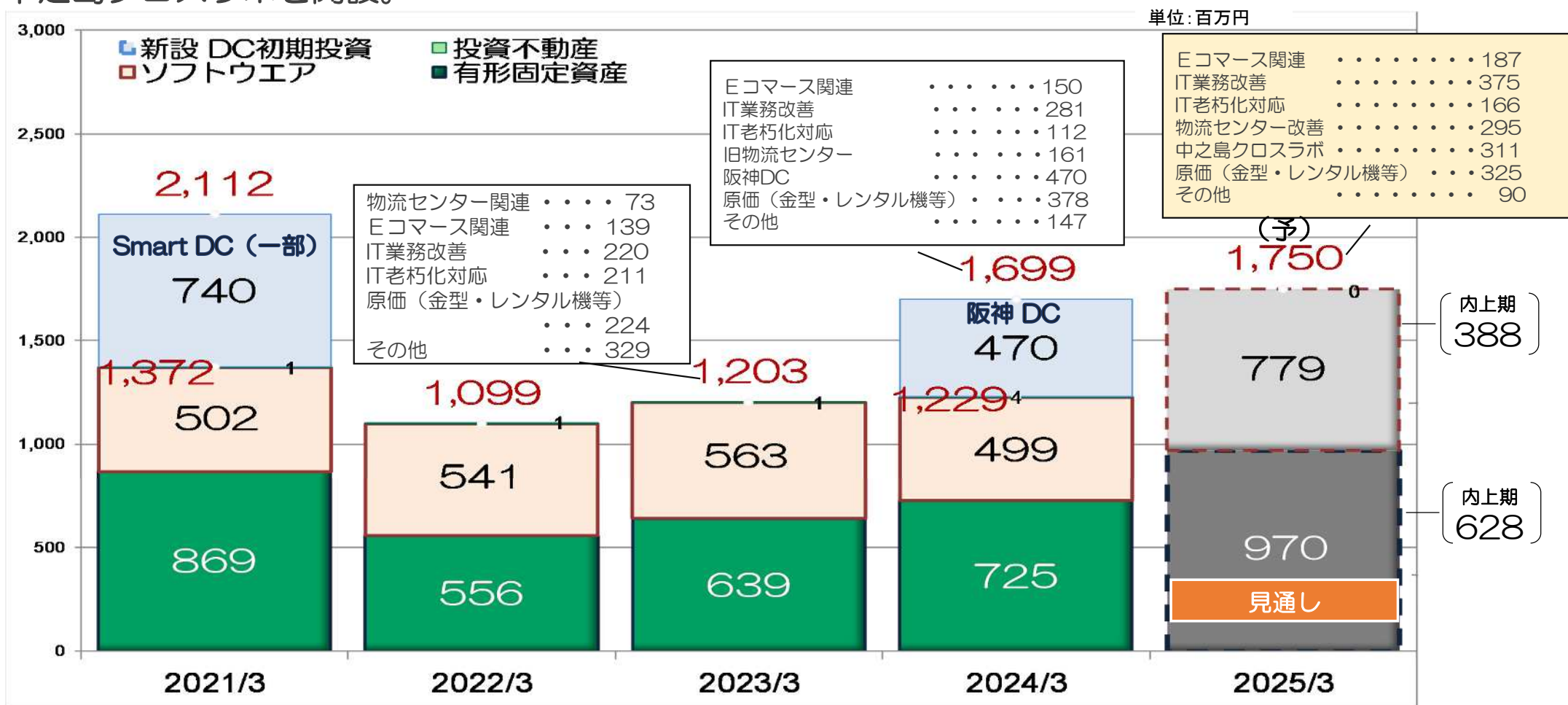
- 売上は修正中計には届かずとも、当初計画は達成見込み。
- 売上・利益共に更に修正中計に近づけるべく邁進する。



投資推移

見通し

➤ 大阪府の未来医療国際拠点「未来医療R&Dセンター」に再生医療関連商材の情報発信拠点として中之島クロスラボを開設。

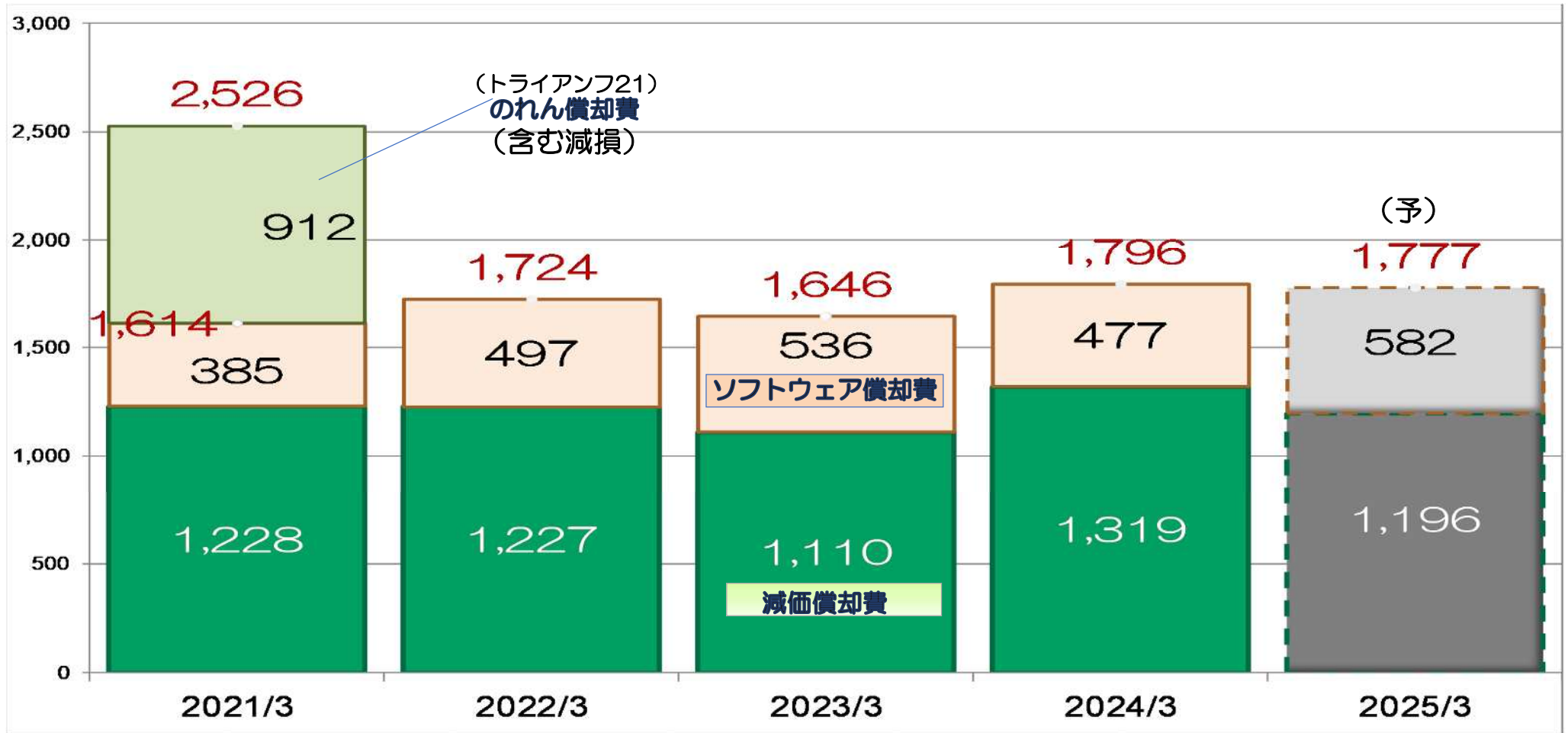


償却費推移

見通し

➤ 例年並みを見込む。

単位：百万円



決算概要・中期経営計画・ビジネスモデル等にご質問がございましたらこちらまでご連絡ください。

広報IR部

06-6447-8821

asone_ir@so.as-1.co.jp

中期経営計画2022年5月修正版

https://ssl4.eir-parts.net/doc/7476/ir_material_for_fiscal_ym1/118558/00.pdf

ビジネスモデル解説資料2023年9月改定版

https://ssl4.eir-parts.net/doc/7476/ir_material_for_fiscal_ym8/133377/00.pdf

当資料に関して、当社は細心の注意を払っておりますが、掲載した情報に誤りがあった場合や、第三者によるデータ改ざん等に関し、事由の如何を問わず一切の責任を負うものではありません。

当資料は、投資勧誘を目的としたものではありません。実際に投資を行う際は、当資料の情報に全面的に依拠して投資判断を下すことはお控えいただき、投資に関する決定は皆様ご自身のご判断で行うようお願いいたします。

当資料の著作権は、アズワン株式会社にあります。無断コピーはお断りいたします。

